

担任者各位

教育開発支援センター

## 平成 25 年度春学期「ラーニング・アシスタントを活用した授業」の募集について

「授業におけるラーニング・アシスタント活用に関するガイドライン」に則り、下記の要領にて、「ラーニング・アシスタントを活用した授業」を募集します。

### 記

#### 1 目的

ラーニング・アシスタント(以下、LA という。)を活用することにより、教育の質的向上をはかり、本学の教育力をさらに高めることを目的とする。

LA とは、担当する授業科目の既習者であり、当該科目において大学生に必要な学習の姿勢・意欲の形成を支援する意味と価値を理解し、グループワークのファシリテーションやモデル・プレゼンテーション等のスキルを教育開発支援センターが提供する研修を通して身につけ、授業においてそれを用いる学生のことである。

#### 2 選定方法

教育開発支援センター委員会において下記の選定基準に従い、LA の人数、履修者数、授業内容等を勘案した上で、LA を活用した授業科目を選定する。なお、結果については、2 月末頃にメールにて申請者に通知する。

- (1) 「授業におけるラーニング・アシスタント活用に関するガイドライン」を遵守していること
- (2) LA の活用による教育の質的向上の実績があること。あるいは、LA の活用による教育の質的向上が十分に見込めること
- (3) LA の活用が授業改善に及ぼす効果についての啓発的・開発的もしくは研究的意図を有すること。ならびにその成果を公表・公開し、さらなる改善についての提案をする意志のあること

#### 3 募集

##### (1) 対象科目

全学の初年次対象の科目等

アクティブラーニング型授業(PBL(Problem Based Learning または Project Based Learning)またはグループワークを含む授業等)であることが望ましい。具体的には、専門知識の有無にかかわらずグループワークのファシリテーションやモデル・プレゼンテーションが可能な科目であることが望ましい。

##### (2) 募集クラス数

春学期 25 クラス(1 クラスあたり 2~3 名)程度

LA の活用時間数については、原則 1 クラス当たり、30 時間とする。申請数が募集クラス数を超えた場合は、時間数の削減、担当 LA の減員、または不採択となることがある。

LA となることができる学生は、原則として本学学部生。

秋学期の募集は、6 月頃を予定。

#### 4 応募要領

##### (1) 募集期間

春学期 平成 24 年 12 月 20 日～平成 25 年 1 月 31 日

##### (2) 申請方法

担任者は、各学部・学科、研究科・専攻等の所属長を通じて「ラーニング・アシスタント活用授業 申請書(新規・継続)」(様式 1, 様式 2) を教育開発支援センター長に提出する。

非常勤講師は、担当科目の推薦母体を通じて、申請書を教育開発支援センター長に提出する。

#### 5 担任者の職務

##### (1) LA の選定

原則として、LA の氏名等を申請書に明記するが、申請書提出前にそれが困難な場合は事後の報告も可能とする。

##### (2) 授業開講前の LA との打ち合わせ

LA と授業開講前や授業内外で打ち合わせ等を行うことで、業務の内容・責任等を明確に指示する。

##### (3) LA の勤務管理

担任者は、LA の勤務状況(時間)を勤務翌月の指定日までに所定様式にて、事務局(授業支援グループ)に報告する。

##### (4) 「LA 活用報告書」の提出

担任者は、学期終了時に「LA 活用報告書」を作成し、教育開発支援センター長に提出する。

##### (5) 授業評価アンケートを活用した報告

最終授業評価アンケートの自由設問に、以下の LA 活用に関する質問を設定し、「LA 活用報告書」にて報告する。

質問例：「LA がいることにより、学習意欲が高まりましたか。」

##### (6) その他

担任者は、教育開発支援センターが主催する行事等に参加する。

#### 6 研修会への参加

LA は、原則として教育開発支援センターが実施する研修会に参加しなければならない。

#### 7 事例の公表

教育開発支援センター長は、担任者に対して、『関西大学高等教育研究』等において LA を活用した授業の成果報告を依頼することがある。

#### 8 事務局

授業支援グループ(教育開発支援センター事務局) 06-6368-1111 (内線 3834)

以 上